

熊取あれこれ

熊取町は泉南地域のほぼ中央部にあって、東は貝塚市、北・西及び南は泉佐野市に接しています。また、東・西・南の三方は山地と丘陵に囲まれ、北西方が海岸方面に開いています。東西約4.8km、南北約7.8km、総面積17.24km²の木葉型の町です。昭和26年(1951年)に町制を施行。



熊取町章は「マ」の形をあしらった花びらが9で「クマ=熊」を、「リ」の形のおしべが10で「リ=取」を表現しています。

そして全体のデザインは町の花であるひまわりをモチーフとし、パワフルに飛躍する熊取の姿を象徴させています。

(昭和26年11月3日制定)



町の木：梅 町の花：ひまわり



この辺りを歩きます

健康ウォーキング

ものしり健康歩く路

歩いて・見て・感じて...くまとり再発見!

シリーズ 1

行程：約6km 時間：120分

～西之山から平見を越え中家・煉瓦館へ～

こんな見どころがあるよ!

このマップは「健康くま隊」のメンバーが、「くまとりをもっと知ってほしい」という思いから、まちにある昔からのなつかしい路を、テーマ別にわかりやすく解説し、シリーズにしています。是非日頃のウォーキングロードの途中に加えてください。このコースは、雨山川に沿って、薬師山を望み、西之山から平見を越え、慈照寺そして中家住宅、煉瓦館へのコースです。途中、西之山大師堂前の上り路は急な坂道です。

西之山大師堂

熊取は昔から大師信仰が盛んでした。平見・朝代・高田・小谷その他でも多くの大師堂が見られます。青葉台が開発されるまでは、西之山各所に四国八十八カ所にちなんだ地藏さん・大師像が祀られ、近辺からも多くの参詣者があったそうです。それらは現在西之山大師堂境内に集められ祀られています。

法禅寺

熊取に多い禅宗のお寺の一つで臨済宗妙心寺末。本尊の薬師如来は、昔役場前にあった東円寺(東暹寺)の本尊で、境内には泉州地域でも古いとされる青面金剛の石像が安置された庚申堂があり、また泉佐野湊の名門、文人「里井浮丘」の筆塚があります。

平見の「まもり地蔵」

大久保日根野線と芦谷線との交差点北西角に地藏堂が立っています。ここから南へ延びる道は西之山裾野を平見越えの道、即ち西犬鳴街道が通り、旅の安全を見守り続けていたことでしょう。今も花が手向けられ、ご近所の方々の手により大切に守り続けられています。

煉瓦館

この建物は、昭和初期の綿布工場を近代化産業遺産として後世へ継承すべく、保存再生したものです。レンガ壁は建設当時のものを活かし、のこぎり屋根を再現する等工場の雰囲気を残しつつ煉瓦館として生まれ変わりました。生涯学習をはじめ、芸術文化活動等に幅広く利用されています。

健康ウォーキングメモ

靴選びのチェックポイント

- 足によくフィットするか
- かかとにクッションがあるか
- つま先に1cm程の余裕があるか
- 軽い
- 吸湿性・通気性があるか

足の形にフィットしやすいのは、自分で調節できるヒモ靴がおすすめです。元気に歩くためには足元を歩きやすい状態にしておくことが大切。そのためにも自分の足にフィットした靴は必須アイテムといえます。快適にウォーキングするため、足元の環境を整えてみましょう!

健康くま隊って?

正式名称は「健康くまとり探検隊」です。第3次健康くまとり21(平成31年3月策定)の推進として「ひとりひとりがいきいきと豊かに暮らせる健康まちづくり」を目指し、健康を幅広い視野で捉えて自分と地域みんなの健康づくりに役立つ活動の企画や実践をしている健康づくりグループです。町内ウォーキング、マップ作り、地域のウォークラリー協力、体力測定の実施などを行っています。メンバーはこの活動に賛同する町民によって組織されています。事務局は、熊取町健康・いきいき高齢課(TEL 452-6285)です。興味のある方は是非お問い合わせください。